

# IV-7 九州

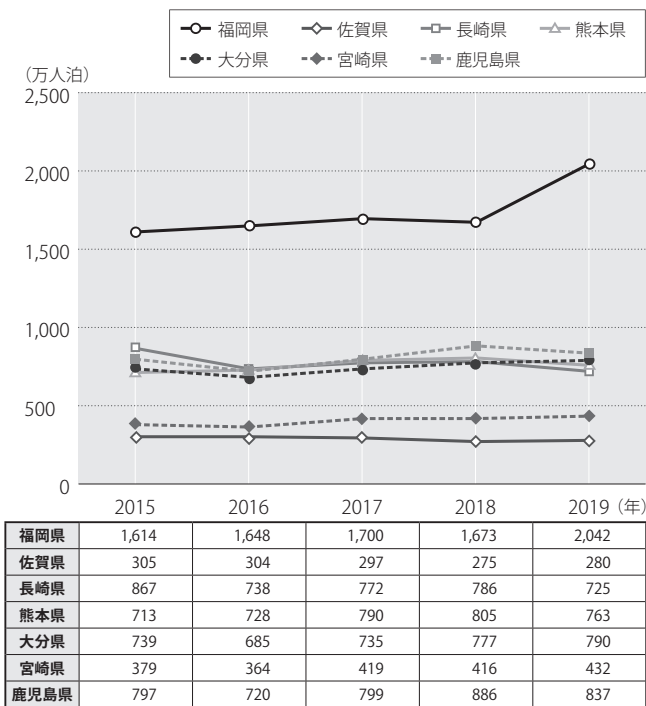
「祭りアイランド九州」の開催  
熊本デスティネーションキャンペーンの開催  
宮崎県観光振興計画、鹿児島県観光基本方針の策定

## (1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると2019年1月～12月の九州各県の延べ宿泊者数について、九州地方全体では5,869万人泊となり、対前年比4.5%増となった(図IV-7-1)。延べ宿泊者数が増加したのは、福岡県(対前年比22.0%増)、佐賀県(対前年比1.8%増)、大分県(対前年比1.7%)、宮崎県(対前年比3.9%増)となった。

一方で、延べ宿泊者数が減少したのは、長崎県(対前年比7.7%減)、熊本県(対前年比5.2%減)、鹿児島県(対前年比5.6%減)となった。

図IV-7-1 延べ宿泊者数の推移(九州)



単位：万人泊  
資料：観光庁「令和元年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

外国人延べ宿泊者数については、九州地方全体では868万人泊となり、前年比5.5%増となった(図IV-7-2)。

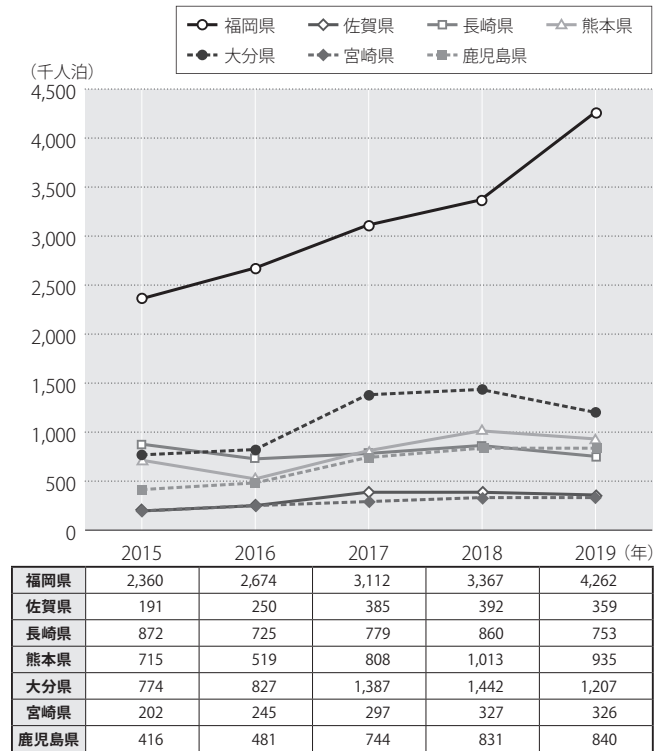
外国人延べ宿泊者数が増加したのは、福岡県(対前年比26.6%増)、鹿児島県(対前年比1.1%増)となった。

一方で、延べ宿泊者数が減少したのは、佐賀県(対前年比8.3%減)、長崎県(対前年比12.4%減)、熊本県(対前年比7.7%減)、大分県(対前年比16.3%減)、宮崎県(対前年比0.1%減)となった。

なお、2019年の九州への外国人入国者数(通常入国者数+船舶観光上陸者数)は422万人で、過去最高の外国人入国者数(511万人)であった2018年に比べて17.5%減少となった。要因としては、2019年7月以降の日韓関係の悪化により韓国人旅行者が約70万人減少(対前年比29.2%減)したこと、中国からのクルーズ船の寄港回数が減少したことが挙げられる(約38万人減少)。

ラグビーワールドカップ2019(以下、RWC2019)の試合が福岡県、熊本県、大分県で開催されたことにより欧米豪からの入国者数は増加した。しかし、韓国人旅行者の減少により、5県(佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県)では外国人延べ宿泊者数が前年よりも減少した。

図IV-7-2 外国人延べ宿泊者数の推移(九州)



単位：千人泊  
資料：観光庁「令和元年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

## (2) 観光地の主要な動き

### ① 地方・都道府県レベル

#### ● 「祭りアイランド九州」の開催

祭りアイランド九州実行委員会(構成メンバー：九州地域戦略会議<sup>1</sup>)は、RWC2019の開催期間に「祭りアイランド九州」を開催した。「祭りアイランド九州」は、熊本地震からの創造

<sup>1</sup>九州地域戦略会議：九州地方知事会(山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)、九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会

的復興に向けて九州（沖縄県含む）・山口地域の魅力を全世界にPRすること、外国人観光客（欧米豪）の九州・山口地域の周遊促進とリピーター化を目指すことを目的としており、RWC2019の観戦で九州を訪れる訪日外国人客や国内客に対して、同時期に九州・山口県各地で開催される祭りにも来訪を促すよう官民一体となってPRに取り組むものである。本イベントでは、「九州の祭り集結」「九州・山口の祭りめぐり（周遊促進）」の2つの取り組みを行った。

「九州の祭り集結」では、2019年9月28日および29日に、熊本市中心部に九州・山口の祭り（37団体）を集結させた。このイベントでは、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「山・鉦・屋台行事」のうち、九州の5つの祭り（博多祇園山笠行事、戸畑祇園大山笠行事、唐津くんちの曳山行事、八代妙見祭の神幸行事、日田祇園の曳山行事）が参加し、2日間で22万人の来場となった。

「九州・山口の祭りめぐり（周遊促進）」では、2019年9月20日～11月3日に九州・山口各地にて開催される57の祭りをPRした。

#### ●「TRY!九州2019キャンペーン」の実施

一般社団法人九州観光推進機構（以下、九州観光推進機構）は、2019年4月1日～2020年3月31日にかけて、「TRY!九州2019」キャンペーンを実施した。このキャンペーンはテーマを「行って、見て、食べて、体験。」とし、九州の宿泊・観光施設、交通事業者、九州観光推進機構会員企業 316社と連携し、九州7県が一丸となり、九州7県の新しい素材・テッパン素材を中心に、着地型商品のPRに取り組んだ。また、九州観光推進機構サイト内に「TRY!九州2019」専用ページを設け、BtoCおよびBtoBそれぞれでの販売に取り組んだ。

#### ●九州のインバウンドに関する調査の実施

2019年度、九州観光推進機構は、「九州エリアにおける訪日外国人旅行者の旅行消費動向分析調査」及び「RWC2019で九州を訪れた訪日外国人旅行者への満足度調査」を実施した。

「九州エリアにおける訪日外国人旅行者の消費動向分析調査」は、匿名のクレジットカード取引データと観光統計データなどを活用し、訪日人数や観光消費額の推計を行った。その結果、九州での1人あたりの旅行消費額は7.9万円が全国の6～7割にとどまることや、富裕層の1人あたりの消費額が北海道、首都圏、関西に比べて低いことなどを把握した。

「RWC2019で九州を訪れた訪日外国人旅行者への満足度調査」は、対面アンケート調査及びSNSデータ分析等により、満足度調査を行った。その結果、旅行者の満足につながったポイントは、「人」「自然」「食事」であることなどを把握した。

#### ●地域通訳案内士の導入

2018年1月に改正通訳案内士法が施行され、これまでの各特例法に基づき導入されていた各地域の通訳ガイドは、通訳案内士法の本則に位置づけられ、新たに「地域通訳案内士」となった。これに伴い九州内では、2018年8月より大分県杵築

市「城下町きつき地域通訳案内士」、2019年3月より鹿児島県「鹿児島県世界遺産地域通訳案内士」、同年6月より、熊本県「阿蘇地域通訳案内士」、大分県中津市「中津市地域通訳案内士」、大分県竹田市「竹田市地域通訳案内士」の取り組みが始まった。2020年8月現在、九州内の地域通訳案内士は以下の通り。

表IV-7-1 九州内の地域通訳案内士一覧

名称	業務区域	導入年	言語
九州アジア観光アイランド特区ガイド	九州（沖縄除く）全域	2014年3月	中国語、韓国語、タイ語
長崎県地域限定通訳案内士	長崎県内全域	2007年4月	英語、中国語、韓国語
阿蘇地域通訳案内士	熊本県阿蘇市・南小国町・小国町・産山村・高森町・南阿蘇村・西原村・山都町	2019年6月	英語
中津市地域通訳案内士	大分県中津市全域	2019年6月	英語
竹田市地域通訳案内士	大分県竹田市全域	2019年6月	英語
城下町きつき地域通訳案内士	大分県杵築市全域	2018年8月	英語
鹿児島県世界遺産地域通訳案内士	旧集材館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝	2019年3月	英語
奄美群島地域通訳案内士	奄美群島	2017年2月	英語、中国語、韓国語

資料：観光庁、各市町村HPをもとに作成

#### ●観光列車や観光バスの運行

福岡県内の筑豊地区の鉄道を運航している平成筑豊鉄道株式会社（以下、へいちく）は、2019年3月21日に観光列車「ことごと列車」の営業運転を開始した。この列車は、九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州）の「クルーズトレイン ななつ星in九州」やD&S列車のデザインを手がける水戸岡鋭治氏が車両デザインを手がけた。車内では、2016年に九州で初めて「アジアのベストレストラン50」に選ばれた福山剛シェフが監修したフレンチコース料理を味わうことができる。

西日本鉄道株式会社（以下、西鉄）は、2019年3月23日に「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」の営業運転を開始した。このレストラン列車では、運行している福岡県筑後地域の食材を使った食事を提供しており、運行時間によってランチ、ランチ、ディナーの3コースがある。列車内には、ピザ窯が設置されており、ランチとディナーでは旬の食材のピザが提供される。また、社内のインテリアには、沿線の大川家具や城島瓦などの伝統工芸が活用されている。

西鉄は、2019年10月に、上質かつ特別なバスツアーブランド「GRANDAYS」を立ち上げた。このツアーは、「One-Seat HOTEL」をコンセプトとし、乗車定員は12名（2席×6列）で、大川家具などを使用した豪華バスを使用する。このツアーは、まちおこしや地域創生に取り組むコンテンツパートナー4社（株式会社VISIT九州、IMD Alliance 株式会社、アイデアパートナーズ株式会社、西鉄旅行株式会社）により、高級旅館や食事だけでなく、まだ知られていない地域ならではの体験などが盛り込まれたツアーが企画・運行されている。

### ●福岡県内に高品質や新たなコンセプトの宿泊施設が新設

2019年7月にライフスタイルホテル「THE LIVELY福岡博多」がオープンした。このホテルは、「世界中から人と情報と機会が集まる場所」をコンセプトとしており、施設内にはゲストのライフスタイルに合わせた滞在を可能にするための充実したパブリックスペースを有している。具体的には、レストラン、バーだけでなく24時間利用可能なコワーキングスペース等の付帯施設がある。また、ユニークな施設として通常の客室と別に、安価なカプセルホテルタイプの「The Millennials Fukuoka」を設置している。

2019年9月に福岡県福岡市に「都ホテル 博多」がオープンした。このホテルは、2016年に福岡市が創設した「ハイクオリティホテル建設促進制度」を活用した第1号のホテルである。この制度は、①ゆとりある客室の提供（総客室の1/4以上が30㎡超の客室を確保）、②ハイクオリティな施設（レストラン・バー・ラウンジ、多言語のコンシェルジュデスク、スパ・フィットネスなど付帯設備の設置の2項目以上に取り組む）、③魅力あるデザイン性の3つを満たすホテルに対して、インセンティブとして最大50%の容積率緩和を行うものである。「都ホテル 博多」は、全室30㎡以上、ホテル最上階にレストラン・バーと、温泉スパとしてプールやプールサイドバー、内湯などを設置している。

JR九州及びJR九州ホテルズ株式会社が創設した新ホテルブランド「THE BLOSSOM」の2番目の施設として、2019年9月福岡市内に「THE BLOSSOM HAKATA Premier」がオープンした。「THE BLOSSOM」はJR九州及びJR九州ホテルズの宿泊主体型ホテルの最上位ブランドであり、1番目の開業は「THE BLOSSOM HIBIYA」(東京、2019年8月)。ホテル内には、レストランやフィットネスジム等の付帯施設を設置している。

太宰府市には、江戸末期や明治期の建物をリノベートした古民家宿泊施設「ホテル カルティア大宰府」が2019年10月にオープンした。明治時代の母屋「古香庵」は、宿泊施設(4室)とレストランに改装。今後、2棟の古民家を宿泊施設として開設し、全13室3棟の施設となる。太宰府天満宮神職による境内案内や夜間特別参拝、大宰府天満宮の神事やイベントの連携企画など、宿泊施設周辺の施設と連携した体験プログラムが企画されている。

### ●福岡県温泉地周遊促進キャンペーンの実施

福岡県は、2019年10月～2020年1月、県内温泉地の周遊促進のための「福岡の湯へGO!GO!キャンペーン」を実施した。キャンペーンでは、県内の温泉施設の宿泊割引クーポン券の抽選(ペア200組(400人相当)に県内30の温泉宿泊施設に、宿泊する際の5,000円の割引クーポン券)、県内44の温泉施設を対象としたスタンプラリーを実施した。

### ●「新JAPAN PROJECT福岡県(筑豊)」JALとのタイアップ事業

福岡県は、日本航空株式会社(以下、JAL)とのタイアップ事業「新JAPAN PROJECT福岡県(筑豊)」を2019年11月の1か月間実施した。この事業では、JAL国内線・国際線の機内誌への特集記事の掲載、機内ビデオの放映、福岡県産の食材などを使った国内線のファーストクラス機内食の提供などを行った。

国内線ファーストクラスの夕食は、福岡に店舗を持つフレンチシェフ(吉武広樹氏)による監修で、博多和牛や博多華味鳥などを使用したメニューを提供した。機内誌や機内ビデオでは、炭鉱で栄えていた筑豊地域を特集し、へいちく「ことこと列車」などを紹介した。また、JALダイナミックパッケージでは特別プラン「スイーツに焼き物 福岡県筑豊エリアへ行こう!」を販売。福岡空港・北九州空港を往復ともに利用し、福岡県内宿泊施設で宿泊した場合、1人につき3,000円の助成を行った。

### ●アニメとのコラボによる誘客促進キャンペーン

佐賀県は、2019年7月1日～9月30日まで、佐賀県を舞台にしたアニメ「ゾンビランドサガ」とコラボしたスタンプラリーを開催した。

佐賀県内の観光施設・店舗及び宿泊施設の198スポットに、「ゾンビランドサガ」に登場するキャラクター等のスタンプ計15種類を設置し、「ゾンビランドサガ」オリジナルグッズや佐賀県内宿泊券、佐賀牛などの抽選を行った。

なお、佐賀県は2018年10月には「ゾンビランドサガ」に登場する7人組アイドルグループ「フランシュシュ」を佐賀県PR大使として委嘱した。また、2020年8月には、佐賀市交通局によりラッピングバスが運行される。

### ●豪雨からの早期回復「元気が!宿泊キャンペーン」

2019年8月27日からの佐賀県、福岡県、長崎県を中心とする九州北部で集中豪雨(「令和元年8月の前線に伴う大雨」)が発生した。この豪雨により、佐賀県内の宿泊施設では、約1.2千人以上の予約キャンセルが発生した。一般社団法人佐賀県観光連盟は、観光の早期回復を目的として、2019年9月から佐賀県内での宿泊料金が1人あたり3,000円割引される「元気が!宿泊キャンペーン」を実施した。

### ●長崎県対馬「行っ得!つしま」

長崎県対馬市は、韓国・釜山から高速船で約1時間に位置する国境の島であり、2018年の観光客のうち約3/4が韓国からの来訪者であった。しかし、2019年7月より日韓貿易紛争の影響を受け、韓国人旅行者数は2018年の41万人から2019年26万人と大幅に減少した。長崎県及び一般社団法人長崎県観光連盟は対馬市と連携し、対馬の観光復興対策として、2019年11月～2020年2月末まで対馬市内での1泊あたり3,000円分の宿泊クーポンを発行する「行っ得!つしま 宿泊割引キャンペーン」を実施した。



### ●熊本デスティネーションキャンペーン

熊本県とJRグループは、2019年7月1日～9月30日まで大型観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン（以下、「熊本DC）」を開催した。

熊本DCは、「五感、ひびく、観動旅 もっと、もーっとくまもっと。」をキャッチコピーに、「くまもっと湯美人」、「くまもっとグルメ」、「くまもっと遺産探訪」、「くまもっと観動絶景」、「くまもっと感動体験」の5つをテーマとし、県内の観光素材やプランをPRした。

キャンペーンでは、以下4つのブランド・認証制度を設立した。①「くまもと感動プロジェクト100」新たな観光素材100件を選出し、ガイドブックやWEBにより素材紹介。②「くまもっと旅行社。」熊本旅行の相談を受け付けるプラットフォームを設置（運営：九州産交ツーリズム株式会社）。熊本DC特別プランとして100件を超える体験プランを販売。③「くまもっと観光応援店」熊本の観光情報や食事などを提供している県外の飲食店を認定し、そこでしか入手できない観光情報などを発信する情報発信拠点を拡大。④「くまもっと湯美人」熊本の温泉は美容・美肌作用を促す泉質（「弱アルカリ性単純温泉」「硫黄泉」「硫酸塩泉」「炭酸水素塩泉」「塩化物泉」）が豊富であることから、地域ごとの泉質をわかりやすく説明した専用WEBサイトを立ち上げ。

DC特別企画としては、「産地と観光を食でつなぐ」をコンセプトに『レストランバス』で行く★旬を食する旅 in Kumamoto ツアーの開催、熊本県内主要観光地へのJR券と交通機関の乗り放題がセットになった周遊きっぷの設定、特別列車の運行などを実施した。

### ●大分県初の外資系ラグジュアリーホテルの開業

2019年8月に大分県別府市に大分県初となる外資系ラグジュアリーホテル「ANA インターコンチネンタル別府リゾート&スパ」が開業した。「温泉&リゾート」をテーマとし、客室は全89室、62～212㎡とゆとりのある客室で、スイートルーム10室とクラブルーム11室の客室テラスにはプライベート露天風呂が備えつけられている。付帯施設には、露天風呂や家族風呂だけでなく、スパやフィットネスセンター、インフィニティプール等がある。また、館内は、大分県産材である「日田杉」や、別府で採れる「別府石」を使用、装飾品には特産品である「竹細工」を使用することにより別府らしいリゾート感が演出されている。

### ●宮崎県観光振興計画の策定

宮崎県は、宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」を上位計画とする観光に関する分野別計画として、2019年度から2022年度の4か年計画の「宮崎県観光振興計画」（2019年7月）を策定した。

本計画の目標は「世界から選ばれる『観光みやざき』」とし、「観光消費額の増」を図ることを最終目標として、各種観光施策に取り組むとしている。

具体的な数値目標は、以下の通り。

表IV-7-2 宮崎県観光振興計画の指標

指標	目標値	現況値
観光消費額	1,660億円 [2022年]	1,551億円 [2017年]
延べ宿泊者数	455万人 [2022年]	419万人 [2017年]
うち訪日外国人	57万人 [2022年]	30万人 [2017年]
観光入込客数	1,610万人 [2022年]	1,532万人 [2017年]
スポーツキャンプ受入市町村数	26市町村 [2022年度]	22市町村 [2017年度]
県外からのスポーツキャンプ・合宿延べ参加者数	205,000人 [2022年度]	196,835人 [2017年度]
国外からのクルーズ船寄港回数	50回 [2022年]	9回 [2018年]
MICE延べ参加者数	240,000人 [2022年度]	216,321人 [2017年度]

資料：「宮崎県観光振興計画（令和元年7月）」（宮崎県）をもとに作成

基本施策として、マーケティングに基づく持続可能な観光地域づくりを掲げ、宮崎版DMOの確立・推進に取り組む。公益財団法人宮崎県観光協会は、日本版DMOの地域連携DMOとして2019年3月に登録された。

### ●鹿児島県観光振興基本方針の策定

鹿児島県は、「観光立県かごしま県民条例（平成21年3月27日公布・同年4月1日施行）」に基づく基本方針として、2020年度から2024年度までを推進期間とする新たな「鹿児島県観光振興基本方針」を策定した（2020年3月24日、本会議にて議決）。

本方針の基本目標を「来て、見て、感動、世界を魅了する観光王国『KAGOSHIMA』づくり」とし、数値目標として観光消費額、延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、クルーズ船乗客数、再訪希望を掲げた。

表IV-7-3 鹿児島県観光振興基本方針の指標

	指標	目標値	2018年
価値を高める	観光消費額	3,700億円 [2024年]	約3,016億円
宿泊数を増やす	①延べ宿泊者数	990万人泊 [2024年]	約886万人泊
	②うち外国人延べ宿泊者数	150万人泊 [2024年]	約83万人泊
クルーズ船による観光客を増やす	クルーズ船乗客数	69万人 [2024年]	約31万人
観光客の満足度を高め、リピーターを増やす	再訪希望	100% [2024年度]	約76%

資料：「鹿児島県観光振興基本方針（令和2年3月）」（鹿児島県）をもとに作成

## ②広域・市町村レベル

### ●訪日外国人専用1日乗車券の利用可能エリアの拡大

福岡市内の交通事業者（福岡市、西鉄、JR九州、昭和自動車株式会社）が連携し発行している福岡市内公共交通1日フリー乗車券「FUKUOKA TOURIST CITY PASS」は、2019年12月より利用可能エリアを拡大した。

これにより、訪日外国人観光客に人気のある能古島・志賀島にアクセスする福岡市営渡船航路の利用を開始、各交通事業者の利用エリア拡大により糸島方面（インスタ映えスポットが多く人気）や相島（猫の島として人気）方面など福岡市内のほぼすべての路線が利用可能になった。

### ●JR九州「門司港駅」リニューアルオープン

2019年3月、2012年から約6年間の改修工事を行ってきたJR九州「門司港駅」が大正3年の創建時の姿に復原された。門司港駅は、大正3年に建築されたネオ・ルネッサンス様式の駅舎で、1988年に鉄道駅として日本で初めて国の重要文化財に指定された。今回のリニューアルにより、開業当初にあった2階の高級レストラン「みかど食堂」を再現した「みかど食堂 by NARISAWA」（レストラン監修：成澤由浩シェフ）もオープンした。

なお、門司港駅横の旧JR九州本社ビルは、2021年夏ごろに約100室規模のホテルとして再生される予定である。門司港周辺は、日本遺産に「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」として認定されており、今後、門司港駅周辺の面的な魅力創出が期待される。

### ●JR別府駅に外国人観光客向け観光案内所を開設

別府市は、2019年4月5日に、JR別府駅内に新しく外国人観光客向け案内所 Tourists' Hub & Lounge 「WANDER COMPASS BEPPU」を開設した。

本観光案内所は、RWC2019 や2020東京オリンピック・パラリンピックなどで今後増加する外国人観光客の満足度向上や受け入れ環境の充実を図ることを目的に開設された。案内所では、観光情報提供、Wi-Fi利用、充電サービス（携帯電話、パソコン等）、外貨両替、手荷物預かり、ガイドサービスなどのサービスを提供している。

なお、「WANDER COMPASS」は東京急行電鉄株式会社と株式会社Huber.が運営する観光案内所で、「WANDER COMPASS BEPPU」は日本で3か所目の開設となった。

（一般社団法人九州観光推進機構 野間恵子）